

県央・宇都宮版

鹿沼産認証材の良質さPRへ

【鹿沼】森林資源の有効活用などを目的に、鹿沼産森林認証材(鹿沼材)のスギを使った組み立て式の出店店舗を下永野の栃毛木材工業(関口弘社長)が開発した。くぎを一切使わず、ボルトで組み立て、解体して保管もできる。大災害発生時には、仮設住宅が建てられるまでの緊急的な避難住宅としても利用可能という。同社はこの出店店舗をドイツ語で「山小屋を意味する「ヒュッテ」と名付け、森林認証された市内の良質なスギ材のPRにも役立てる方針だ。

(枝村敏夫)

スギ材使い組み立て店舗

栃毛木材工業の「ヒュッテ」



東京クリスマスマーケット2016で利用されている「ヒュッテ」=東京都千代田区、阿部雅士撮影

災害時は緊急避難住宅に

同社とイベント会社「ピー」(都中央区)が、異業種交流・エフ・シー(本社・東京)で開発した。ピー・エフ・

シーは、各種イベントでテント代わりにドイツから輸入した木製の小屋を使い売店などとしていた。国産材に興味を持っていたため、関口社長(45)に提案し商品化した。

東京都千代田区の日比谷公園噴水広場で25日まで開かれている「東京クリスマスマーケット2016」にも出店し、このヒュッテが活躍。ヨーロッパのクリスマスの雰囲気味わえる人気イベントで外国人も多く来場している。会場には32棟がずらりと並び、木のぬくもりがある飲食店や雑貨店として利用されている。

ヒュッテは4・5畳、6畳、16畳の3タイプを開発。組み立て式で最大縦90センチ、横270センチの杉板を組み合わせる。組み立て作業にかかる時間は、6畳タイプが大人3人で2、3時間という。

栃毛木材工業は市内に森林を所有し、山つくりから

製材、建築業まで一貫した事業を展開する。関口社長は地域材を使用したヒュッテの普及促進のため、来春を目安に社団法人日本ヒュッテ協会を設立する予定。関口社長は「今までにない視野で新たなユーザーを開拓できる。災害時に緊急的な仮設住宅としても使える。行政が物資として備える被災地に送れば一般の人でもすぐに組み立てられ利用できる」と話している。

関口社0289・84・0036。



なば保育園で行われたイチゴの贈呈式で合唱を披露した。坂田和信青年部長(40)は「今年の実甘いのが特徴。少し早いクリスマスプレゼントです」。同園の鈴木優衣ちゃん(5)は「イチゴは大好きなのでおやつで食べるのがとても

町内5保育園へイチゴの贈り物

町毎出荷組合青年部「壬生」クリスマスを前に、町毎出荷組合青年部22日、町内の五つの公立保育園にイチゴを贈った。プレゼントしたのは摘み採りの「とちおとめ」合計25箱。地元の子どもたちに町で収穫された新鮮なイチゴを味わってもらおうと、毎年実施している。

この日は上稲葉のいなば保育園で贈呈式が開かれた。同園の子どもたち12人が青年部メンバーからイチゴを受け取り、町マスコックキョラクター「みぶの妖精ミナ」も登場。園児たちはお礼として合唱を披露した。

坂田和信青年部長(40)は「今年の実甘いのが特徴。少し早いクリスマスプレゼントです」。同園の鈴木優衣ちゃん(5)は「イチゴは大好きなのでおやつで食べるのがとても

夢ドリ



わたしはしょうらい、アイドルになって歌を歌いたいです。まわりのたくさんの人に、ハッピーになってもらいたいからです。

詳細はWEBで！
記念日紙面販売
デジタル推進室 受付時間 17時～19時
028-625-110